

JRRT が初のグループ勉強会

JRRT(城西グループ急変対応チーム)の初のグループ内の勉強会が5月19日に開かれました。城西病院や社会福祉法人「筑西会」の職員など36人が参加し、心肺蘇生法などのBLS(一次救命処置)などを学びました。

JRRTは、グループ内の施設で急病者が発生した時に、より高度な初期治療を行うことで命を救おうと平成27年11月に医師や看護師ACLS(二次救命措置)の有資格者5人で発足しました。今回、グループ内の職員すべてが救急救命に対する意識を共有し、技術をスキルアップすることで急変する患者さんや患者さん以外の人たちの命を1人でも多く救おうと、研修会がスタートしました。

今回、研修会には140人を超える希望者が殺到し、初回は36人だけでスタート。年内にあと3回の研修会を予定し、希望者すべてが受講するよう計画しています。

まず、急変とは予期しない急激な病状の悪

化を指し、徐々に衰弱する患者さまと区別。急変の場合、チームとして対応する大切さを強調し、呼吸や心肺を確認できない状態ではAEDを準備し、早急に心肺蘇生と人工呼吸を施すことが大切だということを学習。AEDは心室細動や無脈性心室頻脈以外では動作しないが、その場合でも心肺蘇生を行うことが救命率を高めることにつながると学習。ダミーを使い、正しい心肺蘇生法の実施方法、AEDの使用法、急変患者に対する対処の一連の流れなどを真剣に学びました。

平成28年5月20日



急変患者はチームで救命

